



七夕！  
夏の  
カレーまつり  
つくしま夏カルタ

本年度2回目の交流会を7月7日、七夕の日に開催しました。

午前中は七夕作り、カレー作りを行い、その後1年を通して完成させるカルタの読み札を作りました。

そしてお昼になると、夏野菜がたっぷり入ったカレーを皆で美味しくいただきました。

午後は絵しりとり、犯人は誰だという2つのレクリエーションを行い、存分に笑って閉会しました。



七夕作り

色々な形の短冊に願いを綴り、笹の葉に飾りました。折り紙でびっくりするくらいきれいな飾りも作りました！

カルタ作り

春の交流会で出た案を参考にして班ごとにカルタの読み札を作りました。より良い文章を作ろうと皆さん真剣でした。



お昼のカレー

カボチャ、ナス、トマト、エリンギなど10種類ほどの夏野菜をたっぷり入れた夏野菜カレーを美味しくいただきました。ただ、子供には少し辛かったようです…(^\_^;)

絵しりとり

頭を回転させて時間内にたくさん絵でしりとりをつなげていきます。答え合わせでは珍解答続出で大笑いしました。



犯人は誰だ

犯人の動きを皆が真似をし、警察は犯人が誰かを当てるというゲームです。犯人が上手すぎて全然当てることができず、皆さん大笑いしてました。



今回の交流会は子供たちもたくさん来てとても賑やかなものとなりました。最後に集合写真を撮り忘れてしまったので、できたきれいな七夕を持って運営だけで記念撮影しました。今度は忘れないようにします！



来て下さった皆さんありがとうございました！

担当…福井俊介



皆さんが選んだ自信作を少し紹介します！

れんこんは  
土浦生産  
日本一

つくばの夏も  
もう3年目  
だね

しんき舞う  
ひばりの里や  
夏盛り

夜の森で  
桜を見ながら  
緑深め

ベスト読み札

# 相馬野馬追に行ってきた！！



山下裕之

7月の27日(土)、28日(日)に筑波大生5名で福島県南相馬市へ行ってきました。そう、もちろん目的は相馬野馬追です！

## 相馬野馬追とは？

相馬野馬追とは、福島県浜通り北部で行われる、馬を追う神事及びお祭りのこと。神事に関しては、国の重要無形民俗文化財に指定されている。2011年の東日本大震災があり、一部内容を変更して開催しましたが、千年以上続く福島の伝統行事となっている。

\*\*\*\*\*

27日の朝つくばを出発して高速を乗り継ぎ、お昼には道の駅「川俣」でシヤモのおそばを頂きました！先日テレビで紹介されたという川俣のシヤモはとてもおいしかったです。その後飯館村を通りました。飯館村は、避難指示区域に指定されているため、外を歩く人は見かけませんでした。農協も、ガソリンスタンドも、ホームセンターも、どれもこれも見た目には被害はまったくないまま閉まっています。道路の脇の草地も、昔は田んぼだったのかもしれない。

無事南相馬市に着いた私たちは、そのまま海岸線を見に、原町から浪江町の請戸漁港の方まで南下して行きました。原発の話ばかりで忘れてしまいがちですが、そこにはしっかりと津波の怖さが刻まれています。一階だけが抜けてしまった家、全部流され土台だけしか残っていない家、集められてそのままのがれき。簡単な言葉ではありますが、テレビではなく、自分の目で見ることでその悲惨さを感じる事ができたと思います。



27日の夜は住民の方のご厚意で、食事を一緒に食べて頂くことになりました。ここでは、母子避難のためバラバラになった家族、放射能の危険性を訴える人、様々な立場の人とお話しさせて頂きました。ほんの一例ではありますが、原発からの距離でバラバラにされ、警戒区域でバラバラにされ、悲しみや喜びの共有ができないつらさや、大切な家を手放さなければいけないつらさを知りました。

\*\*\*\*\*

28日はいよいよ野馬追を見に行きました。デイリーヤマザキまで車で送ってもらい、そこから祭場地まで歩いて向かいました。天候は曇りで、雨は降らずに比較的涼しい中で観戦できました。鎧兜を来て行進してくる武者達は、まるで時代劇を見ているようでした。それを見に来た観客の数もとても多く、座るところがなく階段に座る人もいるほどでした。



12時からは甲冑競馬が行われました。白鉢巻をしめた武者が馬にまたがり、先祖伝来の旗差物をなびかせながら風を切って疾走する姿はとてもかっこよかったです。たまに落馬してしまう武者もいて、そのまま放たれた馬を捕まえるというハプニングもありました。ハプニングも観客は楽しんでいて、甲冑競馬以上の歓声があがる場面もありました。

13時からは祭りのハイライトである、神旗争奪戦が始まりました。花火と共に打ち上げられた二本の神旗がゆっくりと舞い降りる、それを雲雀ヶ原に集まった数百ある騎馬武者達が奪い合う。見事御神旗を手にした騎馬武者は誇らしげに掲げながら、羊腸の坂を一気に駆け上がる。御神旗を誰が手にする瞬間が一番盛り上がり、中でもかっこよく神旗をキヤッチした時は大歓声があがりました！

今回は、福島の伝統のお祭りを見ることができただけでなく、震災によるつらさをお聞きすることができました。お世話になった方々、ありがとうございました！

# 戦争と原発事故、ふたつの人災



水落裕樹

いつもの「赤とんぼ」と違う飛行音が聞こえたので反射的に隠れてみたが、それは米軍の艦載機のものではなかった。日本の戦闘機が白旗を掲げて町の上空を飛んでいたのだった。

戦時中から双葉町で生まれ育った江又トミ子さん(84)は終戦の日のことを振り返る。双葉町の福島第一原発のあるところ、そこにはかつて磐城飛行場という特攻隊の基地があった。オレンジ色に塗装された訓練用の木製複葉機、「赤とんぼ」の飛ぶ音が戦時中の日常だったという。戦後空き地になったこの場所はいつしか東電に売られ、原発は町に潤いを一雇用や助成金や公共施設を—もたらし、そして爆発した。



つくばは四度目の避難地だ。今は吾妻の公務員宿舎で単身暮らし。夫は近くの介護施設に入っている。避難所を点々とする生活は辛かったが、ボランティアやかつての教え子たちが会いに来てくれ、避難して気づけた幸せもあったと、若い頃教師をしていた江又さんは語る。安住の地がない不安は常にあるが、イベントに参加したり、美術館や大学に出入りしたりするのはつくばでの暮らしの特権だ。

かつての戦争のときと比べて、「今は若い人たちが心配だ」と江又さんは言う。今も防護服を着て原発で作業している教え子がいる。白血病で亡くなった教え子もいる。筆者は戦争と今回の震災に通底するものを感じずにはいられなかった。

## しゃべり場に行ってきました！



下田梢

6月と7月の2回、元気つく場会(いい仲間つく浪会)の古場さん主催のしゃべり場にお手伝いに行ってきました！6月23日の桜老人福祉センターでは、講師の方に教えていただいて「川柳を楽しむ」会でした。午前中には全員で川柳をつくったのですが、私がほぼ初めての川柳づくりで苦戦している中、参加者の皆さんは次から次へと川柳をつくっていて、ただただ圧倒されるばかりでした(笑)午後にはつくった川柳の発表会もあって、皆さんがつくった川柳を聞いて感慨に浸ったり、時には笑いが巻き起こったりと、とっても素敵な会でした！

7月14日の高見原一丁目会館では「土用餅で夏の暑さを吹き飛ばそう」ということで、参加者の皆さんと5種類のお餅をつくって談笑しながらおいしくいただきました☆輪投げや楽器の演奏もあって皆さん楽しんでおられました。

どちらの会でも最後には相馬盆歌に合わせて全員で盆踊りを踊りました。お手伝いに行ったにもかかわらず、どちらの会でもかなり自分が楽しんでしまい(笑)、皆さんから元気をいただきました。皆さん、素敵なお話と笑顔をありがとうございました！



2013年8月24日(土)～25日(日)

# まつりつくば2013

とっても盛り上がるお祭りです。さまざまなイベントも行われるので、夏の思い出作りになると思います。行ってみる価値大有りです！



みなさん、「まつりつくば」をご存知ですか？「まつりつくば」とは、つくば市最大の夏祭りです。毎年行われています。「見て、体験して、食べて楽しめる」お祭りです！  
まつりつくば最大の見どころは、つくば駅周辺の土浦学園線で行われる大パレードです。日本一の大きさの「万灯神輿」、つくば万博を記念して製作された「万博山車」、青森で実際に運行された「大ねぶた」などが練り歩きます。

大迫力のねぶた！  
一生に一度はねぶたを  
自分の目で見るべきです！  
青森に行かずともつくばで見られる  
チャンスです！！

つくばに一番人がいる日…？  
たくさんの人で本当に盛り上がります！！



担当…木村奈那子

青森県出身

## Tsukuba for 3.11

### メンバー紹介 ～ななこ編～

「ボランティアに興味があって、人と話すことが楽しくてこの団体に入っています。  
たくさんの刺激をもらって、将来に生かすことが出来たら嬉しいです。」

TF3の頼れるお姉さん！

医学水泳部の次期主将も任された才色兼備

**医学群看護学類 2年**

**木村奈那子**

(ななこ)



出身は青森。

お母さんからの電話に出る時は「訛ります！」

趣味は水泳と買い物です。

# ボランティアとは

僕は、この団体に入るまではボランティアはやったら終わりの短期的なものだと考えていました。しかし、長期的にこの活動に関わるようになって今まで自分の考えていたボランティアはただの自己満足に過ぎないので、はと考えるようになり、この「ボランティアとは」という問いを考えるようになった。

ボランティアに正解・不正解はないと思います。しかし、関わり続けないと見えてこないものがあると思います。そこから何を感じるのかは人それぞれだと思いますが、きっとそれは自分の糧になり、自己満足にとどまらない活動を考えることができるのだと思います。

結局のところ、明確な答えは出ていないのですが、これは活動してきたからこそ生じた問いであると思っと思っていますし、答えが出なくてもこの問いについて考え続けることが重要なのではないかと思います。

なので、もし少しでもボランティアをしてみたいと思ったら是非やってみてほしいなあと思います。そして少しでもこの問いについて考えてほしいと思います。

最後に：

被災地域はがれきなどは片付いてきました。がまだまだスタートラインにたっただけです。復興はまだまだこれから！皆さんぜひ東北に遊びに来て下さい。そして復興を応援してください！

つくば市  
陸前高田の山車が  
つくばにやってくる



宮城県東松島市  
農業ボランティア



福島県勿来  
なこそ復興ウォーク



担当：福井俊介

頭の体操！

ぬりえ

～夏祭り編～



左のお祭りの絵に、  
**色鉛筆**や**クレヨン**を使って  
色をぬってみてください！  
浴衣やうちわの柄も  
自由に描いて、  
自分だけの  
**オリジナルの作品**を  
つくりましょう♪

園田有紀乃



# 「つくしまの声」大募集!!

下田梢

今回、新たに手書きからパソコン打ちの文字へとデザインを一新した「つくしま」ですが、このことについてのご意見を読者のみなさまにお聞きしたいです。

- **読みづらい／読みやすい**
- **堅い感じがする**
- **手書きの方がよかった／パソコンの方がいい**

などなど、どんな些細なご意見でもお待ちしております。

いただいたご意見は今後つくしまをつくる際の参考にさせていただきたいと思います。

また、今後の交流会でどんなことをしたいか、というご意見も募集しています！

やりたい**企画**や**レクリエーション**、**つくってみたい食べ物**、**聞きたいお話**など何でも構いません☆  
みなさまの声をお待ちしております！

この他にも何かご意見があればお気軽に以下の連絡先までどうぞ！

いただいたご意見は今後の活動の参考にさせていただきます。よろしく申し上げます。

〈連絡先〉

メールアドレス：tsukubafor311@gmail.com（件名を「つくしまの声」としてください）



担当：福井俊介

皆様、今回のつくしま、楽しんでいただけましたでしょうか？

季節は夏！！とにかく暑い日々が続いておりますが、ぜひ涼しい場所で

このつくしまを読んでいただければと思います。

今回は初の試みとして活字で出版させていただきました。

ぜひ、これについてお声をお寄せいただければと思います。

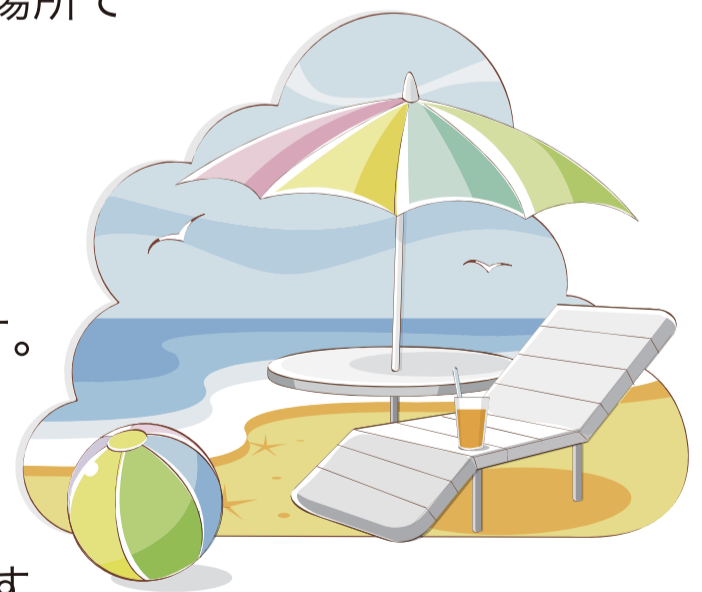
さて、夏が過ぎればいよいよ筑波大学は学園祭シーズンを迎えます。

Tsukuba for 3.11 も出店しますので皆さんぜひお立ち寄りを！

その他にも、秋の交流会などのイベントも待ってます！

詳しい情報はぜひホームページなどを見ていただければと思います。

では、夏バテせずに素敵な夏休みをお過ごしください！！



☆ホームページ：<http://tsukubafor311.jimdo.com>

☆ツイッター：[@tsukubafor311](https://twitter.com/tsukubafor311)

☆ブログ：<http://ameblo.jp/tsukubafor311/>



<助成> 住友商事東日本再生ユースチャレンジプログラム 2012ー活動・研究助成一